

市議会だより

あくね

第3回 定例会

第3回定例会総括及び委員会報告……………2

一般質問……………5



NO.180

平成26年11月14日

編集 / 広報特別委員会

発行 / 阿久根市議会

TEL 0996-72-0815

FAX 0996-72-2029



阿久根市議会

第3回定例会

一般会計補正予算、

総額1億8156万9千円を追加

平成26年9月8日から24日まで平成26年度第3回阿久根市議会定例会が開かれました。

予算については、平成26年度補正予算3件が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。

条例については、軽自動車税や法人市民税の改正等の市税条例等の一部を改正する条例、放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準を定める条例など平成27年度から始まる子ども・子育て支援新制度に関する条例3件が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。

陳情については、「議員定数検討委員会」の設置を求める陳情」が採択され「議員定数等に関する調査特別委員会」が設置されました。また、新たに提出のあった川内原子力発電所再稼働に関する陳情3件については、総務文教委員会に付託されました。

また、議員提案により、川内原子力発電所再稼働に関する意見書が2件提案され、総務文教委員会に付託されました。

平成25年度決算認定7件については、決算特別委員会が設置され、閉

会後審査が行われました。

審査結果につきましては、第4回定例会で報告される予定です。

〔人事案件〕

◎人権擁護委員の推薦（同意）

河野俊一氏（深田）

◎特別委員会の設置

・議員定数等に関する

調査特別委員会

委員長…濱崎國治議員

副委員長…石澤正彰議員

・決算特別委員会

委員長…仮屋園一徳議員

副委員長…山田勝議員

委員…議長、議会選出監査委員を除く議員

◎議会運営委員会

鳥飼光明議員が、本会議での不適切な発言により、議会運営委員長を辞任したことから、正副委員長の交代がありました。

委員長…岩崎健二議員

副委員長…出口徹裕議員

委員会報告

◎総務文教委員会

◇議案第40号 北薩広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更について

変更の経緯について

〔答〕 北薩摩ふるさと基金条例の廃止に伴うもので、阿久根市分の清算金2億5710万円は、いったん市の基金への積み立てを予定し、次年度以降に効果的な活用を図る。
所管課 企画調整課

◇議案第41号 阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について

改正の内容について

〔答〕 法人税について、新しくできる地方法人税は、今の法人市民税から2.6%下がる分と、県税である法人県民税が、1.8%下がりその合計額4.4%が地方法人税の税率となり、事業所が支払う税額としては変わらない。

〔要望〕 自動車取得税の税率の引き下げ、環境への負荷の少ない自動車を対象とした税率の軽減等の特例処置の拡充、自動車の環境に及ぼす影響に応じた自動車税の税率の特例措置の拡充、また軽自動車税の税率の引き上げについて、市民への丁寧な説明を要望した。

所管課 税務課

◇議案第45号 平成26年度阿久根市一般会計補正予算（第3号）
総額1億8156万9千円について審査を行い、原案を可決した。

〔問〕 電算システム改修負担金の内容について

〔答〕 平成28年1月から導入される個人番号制度にともなう住民台帳作成システム改修にかかるものである。
所管課 総務課

〔問〕 教育費におけるエネルギー教育教材の内容について

〔答〕 エネルギーに関する教育を促進するため、学校における原子力、その他のエネルギーに関する教育にかかわる教材を購入するものである。
所管課 学校教育課

◇平成25年陳情第5号、第6号、第7号、第8号、平成26年陳情第6号、第7号、第10号に関する中間報告について

現在総務文教委員会に付託され、継続審査となっている原子力発電に関する陳情7件についてこれまでの審査の経緯について中間報告を行いました。

○産業厚生委員会

◇議案第45号 阿久根市一般会計補

正予算(第3号)

問 元気度アップ地域包括ケア推進事業の内容について

答 平成26年度からの県単独事業で、65歳以上の高齢者を含む団体が行う互助活動に対し、地域商品券等に交換できるポイントを付与して地域の互助活動を活性化し、高齢者を地域全体で支える地域包括ケアの推進を図ることを目的としている。所管課 生きがい対策課



元気度アップ事業の手帳

問 肺炎球菌のワクチン接種は10月から65歳以上、5歳刻みとなっているが、その間の年齢の方はどうなるか。

答 平成30年度まで5年間、65歳以上の5歳刻みが対象となるので5年間スライドしながら全高齢者の方に

行き渡るといふ状況になっている。所管課 健康増進課

問 道路維持費の工事の発注について、議会からの要望もあり4路線を7工区に分割して発注したいという説明だが、分割発注することによつて業者を育成するメリットがある反面、諸経費が増えるデメリットもあるので比較検討すべきではないか。

答 事業実施に当たり、多くの事業者を活用することが、地域経済の活性化、事業者の育成に資するので、執行に当たっては分割発注を検討する。メリット、デメリットを検討し、3路線は起点側と終点側から工事ができるので2工区に分けられる。1路線については工事の難しさもあり分割できないので、4路線を7工区に分割して工事発注したいと考えている。所管課 都市建設課



改修が行われる赤瀬川の出口線

○市の活性化と地元企業育成に関する調査特別委員会

本委員会は、市の基幹産業や公共性の高い業種に関して、現状の課題や事業の取り組みを調査する目的で、昨年12月20日に設置され、各所管課に、現状の問題点、課題、事業の取り組み等について説明を受け質疑を行いました。

・一次産業

農林漁業における共通した問題として、高齢化と担い手不足が深刻な問題としてある。それぞれに市単独の補助金等の施策を行っているが、根本的な問題解決になっていない。地元産品のブランド化や、販路開拓をサポートする事で、一定の成果は上がっているが、さらなる人材育成が重要である。

・福祉施設

現在職員が不足している施設はないが、有資格者の人材確保が難しい状況である。一方では多くの待機者がいる状況で、計画的に施設整備を進めなければならない。しかし保険料や償還金等の返済に反映される事もあり、医療機関、保健、福祉の連携と役割分担が必要になっている。対策として住所地特例で対応できないかとの意見も出された。

・公共事業の入札状況

平成25年度の入札結果をもとに、下位ランクの業者の育成にならないのではとの意見が出された。また、格付けごとの取り扱い額の見直しも必要ではないかとの意見や、分離分割発注についての考え方についても質疑が集中した。

調査過程で、現在の入札結果状況が果たして公平公正であるのかという意見があり、最終的に、市長の政策的な考え方について調査を行った。市長は指名に関して、「それぞれの施工能力を考慮した上で、公平な指名が行われているが、過去において緊縮財政を実施しており、極力事業費を抑える為に分離発注が行えなかったという側面もある。しかし、若干コストがかかっても業者の育成は必要であり、適正な価格の範囲内の体制作りは必要であると思っている。また、今後取り扱い額についても検討していく」とのことであった。以上の内容を第3回定例市議会初日に委員長報告を行った。



市の活性化と地元企業育成に関する特別委員会委員長
松元 薫久議員

平成26年第3回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第39号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意(全員)
議案第40号	北薩広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更について	可決(全員)
議案第41号	阿久根市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決(全員)
議案第42号	阿久根市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決(全員)
議案第43号	阿久根市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決(全員)
議案第44号	阿久根市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決(全員)
議案第45号	平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第3号)	可決(多数)
議案第46号	平成26年度阿久根市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第47号	平成26年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第48号	平成25年度阿久根市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決(全員)
陳情第5号	阿久根市議会議員定数検討委員会の設置を求める陳情書	採択(全員)

議決結果 (賛否が分かれた案件のみ)

議 案 名	議員名(議席番号順)															議決結果	討 論
	出口 徹裕	仮屋園 一徳	竹原 恵美	石澤 正彰	松元 薫久	牛之濱 由美	濱崎 國治	野畑 直	大田 重男	牟田 学	岩崎 健二	木下 孝行	鳥飼 光明	山田 勝	中面 幸人	濱之上 大成	
平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第3号)	◇	◇	◆	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決 反対：1 賛成：—

※濱之上大成議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。（表の見方）◇は賛成、◆は反対

議 論・討 論

阿久根市税条例の一部を改正する条例の制定について

【賛成】 今回の法改正で標準税率は12・3%から9・7%に引き下げられているが条例改正の提案説明の中で、標準税率が9・7%であることに一言も触れていなかった。市民や事業者に対して丁寧な説明が必要である。
この提案には賛成するが今後は、地域自治体間の連携を取りやすくするためにも、標準税率を課している出水市、長島町とあらゆる面で足並みを揃えることを望む。

【反対】 平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第3号) 予算のうち61万千円は駐駐車場に誘導員を毎日4〜6時間配置して、港の駐車場を案内するものである。駅横の駐車場は近隣住民が一部占有しているが、市はその対処をしていない。港の駐車場所有者である県は、駅利用者の使用を許可していない。そのため、看板を上げず誘導員に声掛けをさせるものである。駅オープンから約5か月が経ち、駅利用者が増えた後の対応は遅く、駐車場の混雑は見られなくなっている。駐車場がない事で逃した損失より誘導員の経費の方が高い。この予算を外し、改めて提案を求める。

一般質問

— 市政を問う —

平成26年第3回定例会では、9名の議員により一般質問が行われました。

一般質問は、市の行政全般について質問し、市長等に説明を求めるものです。

なお、議員ごとに質問と答弁を要約して掲載いたします。

【質問者】

（質問順）

- | | | | |
|---|----|----|----|
| ① | 鳥飼 | 光明 | 議員 |
| ② | 山田 | 勝 | 議員 |
| ③ | 石澤 | 正彰 | 議員 |
| ④ | 牟田 | 学 | 議員 |
| ⑤ | 野畑 | 直 | 議員 |
| ⑥ | 松元 | 薫久 | 議員 |
| ⑦ | 竹原 | 恵美 | 議員 |
| ⑧ | 濱崎 | 國治 | 議員 |
| ⑨ | 中面 | 幸人 | 議員 |

問

次の市長選への出馬の意向は

答

立候補を決意したところである

老朽化した橋の対策について

【鳥飼】

道路法が改正され、7月から5年に一度の点検が義務化され、現在の遠方目視点検から、近接目視点検に変更されているが、阿久根市において老朽化した橋はいくつあり、対策はどのように実施され、それに伴う技術職員は配置されているのか。

【市長】

コンクリート橋が202橋あり全体の89%、鋼製橋が11橋で5%、石橋4橋で2%、混合橋が9橋で4%である。

調査については、平成22年度から24年度において2046万6千円で実施、今後平成27年度から10年間で管理橋の89%にあたる200橋を改修工事として実施する計画で、職員については維持係1名と建設係1名の2名で対応している。



鳥飼 光明 議員

【鳥飼】 第一回市議会定例会において、次の市長選挙に出馬する旨の答弁をされたようであるが12月21日実施予定の市長選挙に出馬するお考えか。

【市長】 私は、市民の皆様から寄せられた期待と後押しを大きな力として、次期市長選挙に立候補することを決意したところである。

空き家対策について

【鳥飼】

全国では820万戸、鹿児島県で14万7300戸の空き家があり、全国で8番目である。本市においては空き家が何戸で、今後空き家対策をどのように進められるお考えか。

【市長】

阿久根市においては現在349戸が利用可能、125戸は老朽化しているが利用可能、195戸については利用不可能である。また、104戸については倒壊の危険または倒壊している家屋である。

対策として、空き家の有効活用と定住促進・地域活性化に向けた施策を検討していく。

問

国道389号線と接する市道の水たまりの解決を

答

11月中旬に完成予定である

山田 市道ユスノ木線、上原・太郎九郎線、国道389号の接点は雨が降ると何日も市道に水がたまり通行できず、市道を避け国道389号線から勤務先や自宅に通行する状態であり、早急な解決をして欲しい。

市長 これまでも地元から改修の要望があり、長い間支障を掛けていたが9月2日入札を実施し11月中旬には改修工事を完了する。



対象箇所の水溜りの様子

金属探知機の導入について

山田 学校給食で金属混入の予防策として金属探知機の導入について、何回も質問したが教育長の答弁に納得できず、教育委員会の最高責任者である教育委員長に尋ねたい。

教育委員長 市議会の報告を受け教育委員会では、従来通りの進め方とすることにした。その後納入業者からの自主検査用の金属検出機設置等



山田 勝 議員

の要望があったとの報告を受けたため、次回教育委員会でも前向きに検討したいと考えている。

米飯給食について

山田 給食センターでの炊飯器の使用開始時期はいつか。また地元阿久根産米を使用するのか。

教育委員長 平成27年1月からの供給開始を予定しており、市内の生産者の米をJA鹿児島いずみなどを経由して、県学校給食会から学校給食センターに納入する予定である。

山田 米飯の委託業者から平成23年2月に来月から委託加工を出来ない旨の連絡があつてから設置するまでの経緯が不透明で進め方に納得できないが説明を受け協議しているか。

教育委員長 平成26年度当初予算案全体の審議をする中で炊飯器の導入についても承認している。

問

阿久根駅舎の現状と今後の見通しについて

答

利便性を向上させ、利用促進につなげたい



牟田 学 議員

牟田 阿久根駅舎の乗降者数の現状と今後の見通しについて

市長 阿久根駅における乗降者数は、年々減少していたが、厳しい経営状況の中、肥薩おれんじ鉄道では、中期経営計画に基づき、観光列車おれんじ食堂の運行開始を初めとする各種利用促進に取り組んだ結果、平成25年度は増加に転じた。

定期乗降者の拡充について

市長 沿線自治体における過疎化や、少子高齢化が進行し、地域全体の人口が減少している厳しい状況にあるが、利用者の大半を占める通学定期利用者の確保について、市としても学校関係者やバス、鉄道事業者との連携を図りながら、通学生の利便性向上、鉄道の利用促進につなげていく。



整備が予定されている浜町河畔線

平成32年に開催される国体、ボクシング競技の取り組みについて

市長 今後、開催地内定を受けてから本格的な準備が始まるが、現段階では、県やボクシング競技関係団体と情報を共有しながら大会運営の検討をしていきたい。

市道、浜町河畔線局部改良について

市長 市としては、渋滞緩和に向け、港橋からの円滑な進入を図るため、用地買収及び拡幅工事を計画している。また、本路線の舗装工事も実施する予定である。

本年、6月には地下レーダー探査の調査を行い、工事実施に向け、現在、取り組んでいる。

問

法人市民税の税率を制限税率でなく、標準税率にできないか

答

約一千万円の税収減になるので、今後も制限税率で課したい

職員数の動向について

野畑 本市は昭和56年度より法人市民税率を標準税率の12・3％に対して制限税率の14・7％で課している。現在、出水市と長島町は標準税率を採用している。今回の法改正で、制限税率は12・1％に標準税率は9.7％に引き下げられる。

広域行政事務組合・消防組合等、密接な関係のある隣接の出水市・長島町と足並みをそろえる考えはないか。

市長 検討した結果、標準税率にすると約1千万円の税収減になる。自主財源を確保するため、今回も制限税率の12・1％で課したい。

野畑 この条例改正の提案理由説明で標準税率が9.7％であることに一切触れなかった。制限税率で課したいのであればもう少し丁寧に説明すべきだと思うが。

市長 市長となる前は一市民として、税率について考えたことも、ほかの自治体とも比べたこともなかった。決して阿久根市が特異的な税率を採用しているわけではない。県内19市のうち、13市が制限税率を採用している。



野畑 直 議員

野畑 今年度の職員採用において、二次募集でも建築職への応募がなく採用できなかった。業務に支障はないのか。

市長 中・長期的な年齢構成を考えて募集を行った。今どの自治体でも建築、土木職の採用は困難である。業務は滞りなく遂行されている。

野畑 平成25年度までの過去5年間において任意退職者が34人であり多すぎると思うが、その辞職理由を把握し、分析しているか。

市長 理由は全て一身上の都合である。それぞれの体調面もある。また新たな職場を目指す者もいる。

問

保育料半減の施策にかかる金額は

答

5千700万程度で、今後も継続していく



松元 薫久 議員

松元 来年27年度からの子ども・子育て支援新制度により、子育て環境にどのような変化があるか。

生きがい対策課長 新制度では利用手続きに大幅な変更があり、十分に周知していく必要がある。認定区分が3つあり、1号認定は満3歳以上で幼稚園または認定こども園に入園を希望する場合、2号認定は満3歳以上で、保護者の就労等により保育が必要とされ、保育所で保育を希望する場合、3号認定は満3歳未満で、保育が必要な事由に該当し、保育所等で保育を希望する場合には市に保育の必要性の認定申請を行い、認定証の交付を受ける必要がある。2号認定と3号認定は入園前に保育の必要性の認定申請が必要となる。1号認定は幼稚園等において、入園内定

後に認定申請が必要となる。

松元 保育料に影響があるのか。

市長 新制度下においても、保護者負担が増えないようにする。具体的にはまだ決定していない。

松元 病児・病後児保育についてはどのように考えているか。

市長 病児・病後児、休日・夜間保育については難しい部分もあるが、市内にある企業内保育所とも協議し検討していきたい。



園庭で遊ぶ子供たち

その他の質問

・川内原発再稼働について

問

阿久根駅舎の雨漏りの状況と責任の所在はどこであるか

答

瑕疵ではないが施工業者に対処いただいた

竹原 雨漏りはいつおこったのか。
市長 5月12日、7月3日、雨漏りが起こった。想定しえない事態が発生したと考えている。

竹原 瑕疵では無いのに発注者の請負業者いじめではないか。

市長 責任の所在を特定することは難しい面があるが機能保全の観点から対応していただいた。

阿久根駅舎の運営について

竹原 阿久根市は阿久根駅舎をおれんじ鉄道から取得し約2億1千万円かけて改修、おれんじ鉄道に運営を委託したが、鉄道の利用者は10%程度の増である。これで目的に沿った運営がなされていると考えているか。



にぎわい交流館阿久根駅



竹原 恵美 議員

市長 増えた事は好ましく思っている。

竹原 駅舎店舗の運営は目標に届いていない。シェフもおらず、計画にある地元のメニューも出していないがどのようにするのか。

市長 指導をしていく。

うみ・まち・にぎわい再生整備基本計画について

市長 本市の長期財政計画との整合性を図りながら財政規律を堅持し、持続可能な健全財政を維持しつつ、計画的に実施していきたい。

竹原 事業の全体計画である「何を、いつまでに、いくら」が示されずに事業が進められており、この事業には問題がある。市民、議会に予算を伴った全体像の計画の提示を求める。

問

旧阿久根高校跡地を活用した働く場所の確保は

答

広く市民等の意見を聴き活用方針を決めたい



濱崎 國治 議員

濱崎 高校跡地の私立の中高一貫校の誘致計画は休止状況になっている。昨年の議会での質問から1年が経過した。計画に関係する方々との協議はどのようになっていくのか。

市長 協議を行ってきたが、学校法人の設立の問題や整備費用の関係など課題があり、結論が出ていない。

濱崎 中高一貫校の誘致は断念する時期に来ていると思うが。

市長 結論を出す時期に来ていると考える。ある種の専門学校誘致の検討も行っている。

濱崎 跡地の校舎等は老朽化や耐震等の関係もあり、利用できないと考える。更地にする費用など、県と具体的な協議を行ったのか。

企画調整課長 県は地元の意見を尊重するとしている。更地の問題を含



活用が求められる旧阿久根高校跡地

め意見交換を行っている。
濱崎 校舎などは県の費用で解体して欲しいとの要望をしているのか。
企画調整課長 跡地活用の具体的な方針が出ていないので、担当者間で協議は行っていない。

その他の質問

- ・人口減少を抑制する積極的な政策の推進体制はどうするのか。
- ・積極的に雇用を増やすための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成するのか。

問

『ふるさと納税制度』を拡充（お礼に特産品を贈る）して地元特産品の振興につなげてはどうか

答

来年度に向け、関係団体と協議しながら取り組んでいく



中面 幸人 議員

中面 地元特産品の振興策として、「ふるさと納税制度」の拡充を図り寄付金のお礼に地元特産品を贈る取り組みをしてはどうか。

市長 ふるさと納税の促進と合わせて、地元産業の支援や特産品のPRにつながることから、来年度に向けて本市においても阿久根市観光連盟など、関係団体とも協議しながら阿久根の特色を活かした、ふるさと納税制度として取り組んでいく。

中面 国においても「地方創生」を目指して設置する「まち・ひと・しごと創生本部」で、ふるさと納税制度を来年度から税金の軽減策や、関連手続きを簡素化するなど拡充する方針を検討中であり、今後ふるさと納税の促進が期待される。わが町の特産品や特典等のPRをウェブサイ

ト等で発信し、阿久根出身者以外からの取り込みも視野に入れ、地元産業の活性化と所得向上につなげてほしい。

ブランド協議会の設立について

中面 阿久根の特色ある産業資源を活かし振興するには、市独自の認証制度を作り地域のイメージを確立したブランド化が必要である。行政も入った協議会を立ち上げてはどうか。

市長 異業種の若手経営者が集まって「正直茶屋」というブランドを立ち上げ、新たな阿久根のブランドや認証部分について協議がなされている。注視しながら手助けをしていく。
中面 みんなが儲かるには、地域の特色を活かした資源のブランド化が必要であり、継続的に安定した所得を維持し産業振興を図っていくには行政の導きが大事であり、行政の責務でもある。形づけるためにも来年度に向け予算化してほしい。

問

学校給食を受ける子供たちの安全を守るために

答

最終的に学校設置者である市長の責任である



石澤 正彰 議員

石澤 子どもたちの命の安全は給食に特定した時、誰が守って誰の責任なのか。

市長 最終的には市長である私が責任を負うものである。

石澤 金属検出機導入を再三お願いをしているが、子供たちの安全を守る道筋が見えないが。

教育長 食材納入業者との意見交換で業者側から自主検査のための検査室と金属検出機設置の要望があった。このため、納入業者との信頼関係が損なわれる心配が少なくなったのではないかと考え、次回定例教育委員会で報告を行い、検討する予定としている。

議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や施設について話し合い、決定する大切な場所です。

- 本会議は、どなたでも傍聴できます。
学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。
- 傍聴の際は、傍聴席入り口にある受付簿に住所、氏名を記入してください。
- 傍聴席の場所は、議場裏の階段を上がり、4階になります。
- 会議の内容をインターネットで中継しています。
- 市のホームページ
URL:<http://www.city.akune.kagoshima.jp/>

★「生中継」もご利用ください。

★「録画中継」も配信中！

平成20年からの本会議が録画配信されています。

○ 議会のうづき

8月



6日 鹿児島県北薩地域振興局に対する出水地域開発促進協議会要望活動
 11日 議会運営委員会
 市の活性化と地元企業育成に関する調査
 特別委員会
 原子力安全対策連絡協議会
 12日 常任委員長・議会運営委員長研修会
 20日 天草・出水県際交流促進協議会総会
 21日 市町村アカデミー議員研修(29日まで)
 25日 北薩広域行政事務組合議員研修(27日まで)
 26日 議会広報研修会
 28日

9月



1日 議会運営委員会
 全員協議会
 議会広報特別委員会
 議員と語る会班長会
 8日 全員協議会
 議会
 10日 本会議(一般質問)
 11日 本会議(一般質問)
 16日 常任委員会
 18日 議会運営委員会

9月

10月



24日 議会運営委員会
 全員協議会
 最終本会議
 決算特別委員会
 (10月3日まで)
 30日 議会運営委員会
 2日 華の50歳組歓迎レセプション
 4日 市内小学校運動会
 5日 第11回肥薩四市議会議長会
 6日 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会の宮崎県への要望活動
 10日 阿久根みどり祭り
 11日 川内原発に係る新規制基準適合性審査結果に関する住民説明会
 14日 県市議会議長会政務調査(17日まで)
 15日 議員と語る会(市PTA連絡協議会)
 21日 各地域での議員と語る会(24日まで)
 22日 南九州西回り自動車道・北薩横断道整備促進に係る要望活動
 23日 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会の鹿児島県への要望活動

10月



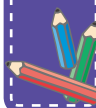
27日 議員と語る会(北さつま漁協)
 28日 議会運営委員会
 29日 北薩広域行政事務組合議会委員会
 総務文教委員会
 30日 北薩空港幹線道路整備促進期成会県への要望活動
 議員と語る会(阿久根市観光連盟)
 出水地域開発協会の鹿児島県に対する要望活動
 31日 議員と語る会(JA各部会長)



※ 議会、たより、議会傍聴に関するお問い合わせは、市議会事務局まで。

TEL (七二)〇八一五
 FAX (七二)二〇二九

編集後記



台風が去ると秋がぐつと深まり、朝晩の冷え込みで冬の足音が聞こえてきました。

第3回定例会を終え、運動会、みどり祭り等の市内行事、決算特別委員会、議員と語る会の開催など、慌ただしい日程で議会は動いています。また11月に入ると第4回定例会が開会されます。

議会、たよりの議員による作成は4回目となりました。議会の「見える化」を進める目的がありますが、議会、たよりの作成はとても勉強になります。議会や委員会での議論の中身を分かりやすく読んでいただき、市政により関心を寄せていただけるよう心がけていきたいと思っています。

(委員 松元 薫久)

発行責任者

議長 濱之上 大成
 議会広報特別委員会

委員長 出口 徹裕
 副委員長 竹原 恵美
 委員 松元 薫久
 委員 牛之濱 由美
 委員 濱崎 國治